

西武塾では、現在新型コロナウイルス感染拡大の影響により
オンライン講座を制作、配信しております。
今回はオンライン講座の中でご紹介した田植えの様子を
西武塾サポーターが詳しくレポートします！

西武塾5月23日（日）農業体験「田植え」

爽やかな晴天のもと、
西武塾サポーターが田植えに行ってきました！



西武塾サポーター 廣瀬奈緒子さん

西武塾では、新型コロナウイルス感染防止のため、塾生参加の5月講座を中止し、代わりに私たち西武塾サポーターがオンライン講座制作のため2021年5月23日（日）、横瀬町寺坂棚田で「田植え」に行ってきました。今回はその様子を西武塾サポーターの廣瀬奈緒子がレポートします。



棚田に向かって
レッツゴー!!

当日、西武秩父線横瀬駅に集合した西武塾サポーターは、寺坂棚田に向かって徒歩で移動しました。途中、横瀬町役場や民族資料館、横瀬川を見ながら大きな橋を渡り、自然に囲まれた山道を登って20分ほどで寺坂棚田に到着しました。

田植えの服装に着替え、田植え作業を開始します！



棚田に到着後、さっそく田植えをするために着替えをしました。

オンライン講座でご覧いただいたように、田んぼの中はドロドロとした沼地なので、汚れても良い服装はもちろん、動きやすさが大切です。濁っていて田んぼの中が良く見えないため、素足では大変危険なので！みんな長い靴下を履きました。

また当日は日差しが強く、肌が焼けてしまわないようにまた、けがなどをしないようにするためにもできるだけ長袖などを着用して作業することをおすすめします！

これで田植えの準備は完了です。

苗の持ち方を教わりました！

寺坂棚田保存会副会長の町田雄一さんから、苗の持ち方や田植えの仕方などを教わりました。



【教わった田植えのポイント】

- ✓ 2～3本ずつの苗を、2～3cmの深さにまっすぐに植える。
- ✓ 隣の人と声を掛け合いながら20～30cmの間隔を空けながら植える。
- ✓ しっかりと両足をつけて転ばないように植える。

お米のお話、寺坂棚田のむかし!!



寺坂棚田保存会副会長 熊崎博夫さん



寺坂棚田保存会副会長 町田雄一さん

そして、寺坂棚田保存会副会長の熊崎博夫さんから、お米についてのお話や、むかし寺坂棚田周辺が石の加工場だったことのお話をお聞きました。

いまでも田んぼの中からは石器などが見つかるそうで、田んぼの中に入る時は石などでケガをしないように注意しましょう！

いよいよ田植え開始！



さあ、いよいよ田植え作業の開始です！転ばないようにゆっくり田んぼに入り、一直線に張ったひもを目印にして、一列に並んで苗を植えていきます。田植えをはじめ、数分が経つと腰が痛くなったり、泥から足が抜けなくなったり大変でしたが、それでもみんなで力をあわせて一生懸命、手植えを続けました。

あっという間に田植え終了！



機械植えの速さにびっくり!!

手植え作業は1時間半ほどで終了することができましたが、長時間腰を曲げる動作や普段使わない筋肉を使つての作業に加え、当日の強い日差しが私の体力を削り取ってしまいました・・・。（みなさんも田植えをする時はこまめに水分補給をしましょうね。）改めてお米を作っている農家の方々のご苦勞を感じました。そんな中、田植えの最中には、オンライン講座で紹介したカエルやオタマジャクシなど様々な生き物を見つけることができました。

最後に、機械植え作業も見学させていただきました。手植え作業よりも正確で、何倍もの速さで植えることができる機械植えにサポーターのみんなも驚いていました。

秋の収穫までよろしくお祈りします！



寺坂棚田保存会 横瀬町役場振興課の皆さん

苗を手で植えるのは大変な作業でしたが、一つ一つ心を込めて植えた苗が大きく成長しておいしいお米になるように祈りながら手植えを行いました。

これから秋の収穫まで、保存会の皆さんには草とりや鳥の被害に合わないようにお世話していただきます。寺坂棚田保存会と横瀬町役場の皆さま、よろしくお祈りいたします。以上、西武塾サポーターの廣瀬奈緒子がお伝えしました。

塾生へメッセージ

寺坂棚田保存会会長 町田修一さん



西武塾塾生の皆さんこんにちは、寺坂棚田保存会会長の町田です。

今年こそ、皆さんと田植えができるかと楽しみにしていましたが、今年も新型コロナウイルス感染拡大を受け、残念ながら中止となってしまいました。

塾生の皆さんも早く体験したいと思っている人も多くいらっしゃると思いますが、このような事態をご理解ください。

そんな中でも私たち農家は、皆さんに美味しいごはんを食べていただきたいと思い、一粒一粒苦勞してお米を作っていますので塾生の皆さんも残さずお米を食べていただけたら嬉しいです。

横瀬町役場振興課 小俣敏孝さん 黒澤洋介さん



今年の寺坂棚田での田植えは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け残念ながら昨年に続いて中止となってしまいました。西武塾のサポーターの皆さんと一緒に手植え作業のお手伝いをさせていただきました。

当日は晴天に恵まれ、絶好の田植え日和となりました。これから4か月、大きな稲に育つことを祈っています。あわせて今回のオンライン講座でもご紹介しましたが寺坂棚田には一年を通してたくさんの生き物が生息しています。新型コロナウイルスの感染が落ち着きましたらこの生き物たちにも会いに来てください。

横瀬町では、7月3日（土）に予定していた「ホタルかがり火まつり」については、残念ながら中止となってしまいました。ですが、今回塾生の皆さんに書いていただいた「ブコーさんの塗り絵イラスト」などを寺坂棚田に飾らせていただきますので、こちらも機会がありましたらぜひ見に来てくださいね！

これから稲刈りまでの4か月間、保存会の皆さんと一緒に田んぼ見守っていきますので、9月の収穫時には皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

秋の稲刈りで皆さんとお会いできることを楽しみにしています！



【田植え協力サポーター紹介】

今回一緒に活動した15名の西武グループボランティアサポーターの皆さん
西武ホールディングス・西武鉄道・プリンスホテル・西武プロパティーズ・西武建設・西武造園・西武アグリ・西武健康保険組合 15名

西武塾事務局からのコメント

今後も西武塾では、実体験講座が開催できるまでの間、引き続きサポーターの協力のもとオンライン講座を配信していく予定にしております。

何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

